

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ① 第74回厚真町成人式開催
- ② 成人式答辞/長期休業中の学習会開催/冬の星空観察会
- ③ 厚真高校魅力化プロジェクト講演会開催/地域とスポーツの在り方を考える/第26回ソフトボール大会
- ④ 就学援助案内/育英資金案内/定例教育委員会
- ⑤ 図書室だより
- ⑥ 放課後子ども教室活動紹介

新時代を生きる成人へエール



第74回厚真町成人式開催

第74回厚真町成人式が1月9日（日）に総合福祉センターで開催されました。今年は平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた31人が対象で、その内18人が出席し、新成人としての第一歩を歩み出しました。

今年度は、新たに成人者による成人式実行委員会を立ち上げ、4人の成人が企画、運営に携わりました。保護者や地域の方々への感謝の気持ちを伝えるために手書きのメッセージを添えた餅まきを企画したほか、記念品に町内の経済を元気づけようと町内で使える商品券を選ぶなど、成人者自身が当事者意識を持って参画した式典となりました。式辞では、遠藤教育長から「これからは良いことばかりでなく、たくさんの苦悩もあるかと思いますが、努力すること、そして楽しむことを忘れず、自分なりの人生を切り拓いていってください」と激励の言葉が贈られました。

式典終了後のアトラクションでは、厚真町出身の歌手、小寺聖夏さんが成人者に向け二曲を熱唱。その後、恩師からのメッセージを織り交ぜた動画や東京2020オリンピック聖火リレーで厚真町を走る予定だったロコ・ソラーレ（女子カーリングチーム）の本橋麻里さんからのお祝いメッセージ動画が公開されるなど輝かしい門出に花を添えていました。



誓いの言葉

高橋 尚揮さん



交通安全宣言

滝 壮一郎さん



記念品贈呈

宮坂町長から記念品を受け取る木戸響己さん



答辞

渡邊 咲羅さん



アトラクション

小寺 聖夏さん



餅まき

成人式実行委員会が企画した餅まき

答 辞

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を開催していただき誠にありがとうございます。宮坂町長をはじめ、ご来賓の方々よりお祝いと激励のお言葉をいただき、心よりお礼申し上げます。また、ご多用の中多くのご来賓の方々にご出席いただき、新成人一同感謝申し上げます。

これまでの20年間、深く温かな愛で育ててくださった皆様のおかげで、私たちは今日、無事に成人を迎えることができました。

私は、一昨年の4月、大学進学を機に18年間過ごした厚真町を出て、札幌で一人暮らしを始めました。札幌は大きな街です。とても便利な街です。電車を一本逃しても5分待てば次の電車が来ます。家から3分歩けばコンビニがあります。映画館もカラオケも今時のおしゃれなお店も、若い私たちが魅力的に思うものすべてがそこにはあります。

でも、落ち込んだ時、人間関係に悩んだ時、毎日の生活に疲れてしまったとき、心に浮かぶ癒しの町はこの厚真町です。この澄んだ空気、きれいな空、豊かな緑、そしてこの町の仲間たち。そのすべてがこれまでもこれからも私の心の根底にあるのだと思います。だからこそ、私はこの町で育ったこと、この町で今日、無事に成人を迎えたこと、すべてを誇らしく思います。

ここ数年で新型コロナウイルスの感染拡大により私たちの生活は大きく変わってしまいました。私たちがこれから生きていくこの時代は、コロナにあらがう時代、コロナに負けれない時代です。決して、先人に踏み固められたような平坦な道ではないかもしれません。しかし、私たちはこの逆境を逆境と思わず、自分を高め成長するための味方にして、1歩1歩、歩んでいきます。

結びになりますが、私たちが私たちに夢や目標をもって毎日を過ごしていけるのは、私たちを優しくと、愛ある厳しきで育ててくださった両親、先生方をはじめとするたくさんの方々のおかげです。ありがとうの言葉では伝えきれないほど、感謝しています。私たちは皆それぞれ、進む道はもちろん違います。ですが、同じ町で育った仲間であることは、私たちがおじいちゃんおばあちゃんになっても決して変わることはありません。これからの未来、幾度も訪れるであろう悲しみやつらい気持ち、それらを乗り越えなければならないとき、この町の仲間の存在が私の力になることは間違いありません。この絆を胸に、自分が正しいと思う方へ、少しずつでも確実に進んでまいります。私たちのふるさと厚真町が発展することを心から願うとともに、将来の新成人の模範となるべく精進していくことをここに誓い、答辞といたします。

新成人代表 渡 邊 咲 羅

成人者としての決意を胸に

「みんなで学び合い、教え合う」 長期休業中の学習会開催

1月5、6日に中央地区、11日に厚南地区において、長期休業中の学習・生活習慣づくりや異学年との交流を目的とした町教委主催の「アツマナビ」が開催されました。両地区合わせて延べ約100人の参加があり、大学生ボランティアや地域の方々と一緒に学びを深める時間となりました。

午前の部（小学校1～4年生）では、新たに、町内のALT（外国語指導助手）と一緒にフルーツバスケットやじゃんけんゲームなどを行いながら、楽しく英語を学ぶ取組を行いました。参加者からは「みんなと教え合い、学び合うことができ楽しかった」との感想が聞かれるなど、充実した学習会となりました。

今後も地域全体で子どもたちの育ちを支えていく土台づくりを進めていきます。



ALTと英語で遊ぶ子どもたち

冬の星空観察会

「冬の星空を見よう」

- ・天体望遠鏡で「すばる」を観察
- ・屋上では冬の星座や大三角を観察

と き 令和4年2月25日（金）
午後5時30分～午後7時

ところ 青少年センター天文台・屋上

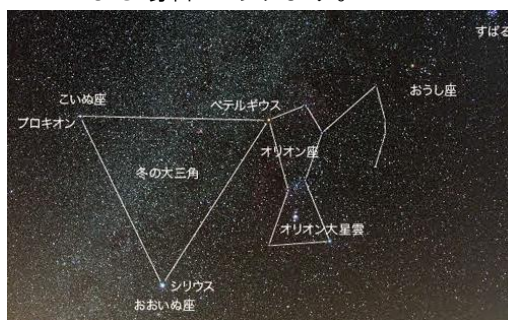
※天候不良の場合はプラネタリウム投影（冬の星座）を行います。

※小学生以下は保護者同伴、中学生は保護者の送迎が必要です。

※暖かい服装でご参加ください。

※マスクの着用、検温、手指消毒にご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染状況により中止となる場合があります。



- ・すばる
- ・オリオン大星雲
- ・冬の大三角



厚真高校魅力化プロジェクト講演会開催

全国に広がる高校魅力化プロジェクト最新&最深の事例と厚真町での取り組みについて

令和3年12月6日(月)に総合福祉センターで、全国で40以上の高校魅力化プロジェクトの支援を手掛ける(株)PrimaPinguino(プリマペンギノ)代表取締役藤岡慎二氏を講師に招いて、「厚真高校魅力化プロジェクト」講演会が開催され、学校教諭や保護者、地域の方々などオンラインを含め約90人が参加しました。

講演では、現在の日本では少子高齢化が進み、子どもの数が減ることで、「高校の統廃合」が進んでいる現状や、地域から高校がなくなったらどうなるのか、各地の事例をスライドや統計等を交えながら説明があり、「まずは地元の高校に進学したいと思ってもらえるように高校の魅力を向上させることが重要である」と語



高校魅力化についての講演に耳を傾ける参加者

っていました。また、まとめとして「教育に力を入れることは生徒の学校生活が充実し、生徒の学びが深まるだけでなく、地域の空洞化を回避し地域創生にもつながる」と締めくくりました。

講演後、厚真高校魅力化プロジェクトの進行状況について教育魅力化支援員として、高校魅力化の活動に携わる加藤千昇さん、川嶋圭さんの2人から報告がありました。

参加者からは、具体的な活動内容やスタート時期などに関する質問があり、講師の経験を踏まえた的確な回答に、理解を深めていました。

地域とスポーツの在り方を考える

令和3年12月21日(火)、総合福祉センターで厚真町スポーツ少年団連絡協議会の主催により「新しい青少年スポーツの在り方を考える」と題して講演会が開催されました。講師は北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の川西正志教授で、少年団の指導者、学校教諭、PTAなど34人が参加し、学校における部活動の地域移行等について考えを深めました。

川西教授は「現在、子どもの体力低下や運動離れ、部活動における学校単位でのチーム編成の難しさ、学校教員の負担増など、教育現場では様々な問題が指摘されている。これまでは子どものスポーツの大部分を部活動(学校)が担ってきたが、これからは学校と地域が協働して支える事で、教員の負担軽減だけでなく、部活動の選択肢の拡がりや、専門性の高い指導につながり、地域のスポーツ振興にもつながる」と解説していました。

また、2023年度からは、休日の部活動の地域移行が全国的に実施されることで、「学校と地域が協働・融合した部活動」が大きく打ち出されていることにも触れました。

最後に、「子どものスポーツ環境について、地域全体で議論を始める時期に来ている。」との話に、参加者は聴き入っていました。



これからのスポーツの在り方について講演する川西教授

第26回室内ソフトボール大会

冬期間の町民の健康・体力づくりと町民同士の触れ合いを目的として「第26回室内ソフトボール大会」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

◆とき 2月14日【月】～17日【木】

開会式 午後6時から(初日のみ)

第1試合 午後6時30分開始

第2試合 午後7時30分開始

第3試合 午後8時30分開始

◆ところ あつまスタードーム

※新型コロナウイルス感染状況により中止となる場合があります。



◆出場資格

町民または町内の職場・学校に所属する方で中学生以上の方。職場・自治会・グループなどチーム編成は自由です。ただし複数チームへの選手の二重登録はできません。

◆監督会議

2月7日【月】午後6時

◆申込み

2月3日【木】午後5時までに各自治会や前年度出場チームに配布の申込み用紙に記入し下記宛に提出してください。(先着12チーム)

◆問合せ

教育委員会社会教育グループ
☎27-3775(スポーツセンター)

就学援助(新入学用品費等)についてのお知らせ

教育委員会では、お子様の小学校・中学校就学にあたり、経済的に困りの世帯に対して、新入学用品及び学用品の購入に必要な経費の援助を入学前に行っています。

- 対象となる世帯 次の要件にすべて該当する世帯
 - ①お子様が令和4年4月に厚真町内の小学校又は中学校に入学予定の世帯
 - ②申請時に厚真町に住民票のある世帯
 - ③経済的に困りの世帯
 ※新入学用品等の扶助を受けた後、町内の小・中学校に入学しなくなった場合や、前年(令和3年)の収入が決定した段階で基準を満たさない場合は、返還手続きが必要になります。
- 援助額

1 小学生	
(予定) 新入学用品費	51,060円
学用品費	11,630円
2 中学生	
新入学用品費	60,000円
学用品費	22,730円
- 援助時期等 令和4年3月中旬
(保護者の口座にお振込みします)
- 申込期限 令和4年2月10日(木)
- 必要書類
 - ①令和4年度就学援助費受給申請書(教育委員会にあります)
(町HPからもダウンロード可)
 - ②世帯全員の、令和2年1月から12月までの収入を証明する書類
※令和3年1月2日以降に厚真町に転入された方のみ
 - ③振込先の口座がわかる通帳の写し
- その他 入学前に申請をしない場合でも、新年度に入り学校へ申請し認定となった場合は、7月頃に同額の新入学用品等の援助を受けられます。
- 問合せ 学校教育グループ

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所がある方の子弟で、大学等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院(防衛大学校等を除く)
- (2) 高等専門学校(第4・5学年及び専攻科)
- (3) 専修学校専門課程(2年以上4年以内)
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額

月額6万円を限度に1万円単位で希望する額

●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

●貸付方法

希望される金融機関の口座(保護者等)へ毎月月上旬にお振込いたします。

- ・通常貸付: 初回貸付は7月中旬(4～7月分)
- ・早期貸付: 初回貸付は6月中旬(4～6月分)

※早期貸付の場合、前年(令和3年)の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

●提出書類

- ①申請書(教育委員会にあります。町ホームページからもダウンロード可)
- ②在学証明書
- ③成績証明書(最後に在学していた学校の証明書)
- ④健康診断書(入学後、学校で受けた結果の写し)
- ⑤課税資料閲覧承諾書(申請書に添付します)

●申込期限

令和4年5月31日(火)まで
(ただし、早期貸付(6月)を希望される場合は4月28日(木)までに申請が必要です。)

●申込・問合せ先 学校教育グループ

12月定例教育委員会報告

12月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

令和3年度第3回厚南地区学校運営協議会/令和3年度第3回中央地区学校運営協議会/教育研究所第5回運営委員会/食物アレルギー研修会/教育支援委員会/文化講演会/放課後子ども教室冬休み特別教室/松浦武四郎碑の移転(ほか3件)

◆協議

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について/総合教育会議の協議内容について

◆その他

総合教育会議の開催について/成人式の開催について(ほか1件)

★問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室
TEL 27-2495 (平日)
TEL 27-2321 (土日)

2021年の図書室を振り返る

貸出回数 上位の本

1位 14回

52ヘルツのクジラたち 町田そのこ／著

沈黙の終わり 下巻 堂場瞬一／著

2位 13回

おしりたんていラッキーキャットはだれのてに
トルル／さく

何がおかしい 佐藤愛子／著

沈黙の終わり 上巻 堂場瞬一／著

月下のサクラ 柚月裕子／著

3位 12回

世界一美味しい手抜きごはん
はらぺこグリズリー／著

終の暮らし 曾野綾子／著

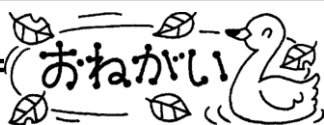
他6冊

2021年は、17,670冊の貸出の利用がありました。

貸出回数1位の町田そのこさんは、この本で2021年の本屋大賞も受賞しました。これからの活躍が期待されている作家さんです。

2021年は、家で過ごすための本が多く出版されました。図書室でも、Zoomやタブレットの本、家庭生活を快適にする本を購入しました。また、食料を多く購入する人が増えたせいか、野菜を丸ごと冷凍する本が何冊も出版され図書室でも3冊購入しました。どの本も、野菜の収穫時期に多くご利用いただきました。

2022年はどんな本が出版されるか楽しみです。



感染拡大防止対策にご協力ください

- ・体調が悪い時、または家族の中に体調が悪い方がいる時は、外出を控える。
- ・図書室へ来るときは、マスクを着用して、入口で検温、消毒をする。
- ・図書室内では常にマスクをして大声での会話を控える。

2月の休館日

11日(金) 勤労感謝の日

23日(水) 天皇誕生日



- 青少年センター図書室開館時間
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)
- 厚南会館図書室
午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

2月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは

24日(木)10時30分から11時まで

場所は 厚南子育て支援センターです。

☆ 放 課 後 子 ども 教 室 ☆

先日、執り行われた成人式。出会った頃は小学生だった子どもたちが、スーツや振袖に身を包み、式典に参列する姿を見るのは、とても不思議な感覚です。容姿はすっかり大人になりましたが、再会した笑顔には子ども時代の面影が残っていて、ほっとしました。成人を迎えた当時の小学生の子どもたちの中には、学生生活を送っていたり、社会人として自分のキャリアを進めている成人者もいます。近況を聞きながら、それぞれ歩む道を心から応援したいと思うとともに、大きなパワーをもらいました。このパワーを原動力に、今年も目の前の子どもたちに真摯（しんし）に向き合っていきたいと思います。

冬休み期間中、通常教室（平日の活動）はお休みですが、昨年12月25日（土）と26日（日）の2日間、冬休みの特別教室を実施しました。25日（土）は、厚真町の環境保全林（豊沢）で森のクリスマスパーティーと題し、雪遊びやたき火遊び、基地作り、木登りなどの森遊びを楽しみました。日中の最高気温でも氷点下という、非常に寒さの厳しい1日でしたが、温かいミルクココアと、自ら体を動かして遊ぶことによって、寒さをしのいだ子どもたちです。午後には、トナカイの代わりにそりを引くポニーがやってきて、子どもたちも大喜びでした。26日（日）は、モノづくりのプログラムを実施。午前中は1～3年生を対象に、松ぼっくりリースをつくり、午後からは4～6年生を対象に、木片を切り出してバターナイフをつくりました。子どもたちはワイワイと、子どもと一緒に参加してくれた保護者や、お手伝いに来てくれたスタッフの大人は黙々と、頭と手と心を動かして形をつくっていくのが、モノづくりプログラムの面白さだと思っています。出来上がった作品は、世界にひとつだけのもの。愛着を持って大切に使うてくれたらうれしいです。

今回の特別教室の開催に当たっても、町内外からのサポートスタッフ、保護者の方々にたくさんのご協力をいただきました。子どもたちの満足度を高められているのも、こうした支えがあるおかげです。子どもたちを楽しませるために、何かをしてあげるのではなく、大人も自ら楽しみを見つけ、子どもたちを巻き込んでいくような、とても温かで愉快的な雰囲気をつくっていただきました。場の一体感を感じられる活動は、子どもたちの表情をととても豊かにしてくれます。これからも人とのつながりを大切に、子ども教室の活動を実施していきたいと思います。

